**１　開催周知における県の協力内容**

**別添　参考資料**

具体的な協力内容については、告知方法の決定や準備を進める中で、関係先との調整も踏まえて検討しますが、例えば、以下の協力が考えられます。

**（協力内容の例）**

・県担当課名の文書（送付書）の提供、県ロゴ入り封筒の提供

・市町村や県立高校等へのポスター郵送（A4サイズに折った状態で厚さ1cmまで）

・市町村や県立高校等、県内大学への周知（メール送付など）

**（参考：令和6年度愛知県学校一覧、令和6年度学校基本調査より）**

・愛知県内の高校数：223校（県立150校、市立15校、国立2校、私立56校）

・愛知県内の大学数：53校（国立4校、公立3校、私立46校）

**２　プログラムイメージ**

企画提案書におけるプログラム概要の作成にあたり、内容や時間配分の参考としてください。

ただし、こちらのイメージにとらわれる必要はありません。提案者において、効果的なプログラムを検討ください。

なお、最終的なプログラムは、企画提案者と県との間で調整の上、決定します。

【対象者（仕様書より）】

主な対象者を「家族のケア経験がある、高校生相当年代から20歳代までの者」として、企画・運営することとする。

ただし、ケア経験がない者、30歳代までの者、同行者等の参加希望があった場合、サロン運営上支障のない範囲内で受け入れることとする。

メインターゲットとする年齢層は、次の事項を勘案して設定しています。

・普段の移動範囲、通信環境（スマートフォン所持率）の状況

・運営メンバー：ヤングケアラー・サロン等協力者名簿登録者の年齢層（～30代前半）

**（イメージ１）**

オンラインを基本として、各回のテーマによって対象を分ける。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | テーマ | 開催形式 | 対象 |
| 年齢 | ケア経験 |
| １ | ヤングケアラーについて学ぼう【講義】 | オンライン | 30歳代まで | 任意 |
| ２ | 自分の経験を振り返ろう【講義＋演習】 |
| ３ | 自分の強みを知ろう【講義＋演習】 |
| ４ | 先輩に話を聞いてみよう①：進学【対談】 | 高校生～大学生相当 | 必須 |
| ５ | 先輩に話を聞いてみよう②：就職【対談】 |
| ６ | 先輩や仲間に会ってみよう【イベント】 | 対面 | 30歳代まで | 任意 |

**（イメージ２）**

対面とオンラインの併用を基本として、対象区分ごとに定員を設定する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | テーマ | 開催形式 | 対象 |
| 年齢 | ケア経験 |
| １ | 自分の経験を振り返ろう【講義＋演習】 | 対面オンライン | 30歳代まで30歳代○人まで | 任意経験なし○人まで |
| ２ | 心と体の健康のための運動実践【講義＋演習】 |
| ３ | 時短料理教室【講義＋演習】 |
| ４ | 先輩ケアラーに聞いてみよう【対談】 |
| ５ | 自分の価値観を知るカードゲーム【演習】 | 対面のみ |

**（イメージ３）**

対面とオンラインの併用を基本として、参加形式によって対象を分ける。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | テーマ | 開催形式 | 対象 |
| 年齢 | ケア経験 |
| １ | ヤングケアラーについて学ぼう【講義＋演習】 | 対面オンライン（講義のみ） | ・対面30歳代までのケア経験者（30歳代 ○人まで）・オンライン制限なし |
| ２ | ピアサポートを知ろう【講義＋演習】 |
| ３ | メンタルヘルス【講義＋演習】 |
| ４ | 自分の経験を振り返ろう【講義＋演習】 |
| ５ | どんなサロンに参加したい？【演習】 | 対面 |
| ６ | 実際にサロンをやってみよう【イベント】 | 第５回にて検討 |

**（備考）**

・　講義がメインの回であっても、質疑応答や、参加者同士の感想共有の時間を設けるなど、参加者が積極的に参加してコミュニケーションができるよう工夫してください。

・　連続して参加する方、単発で参加する方の双方が参加できるよう、各回のテーマ・内容を設定してください。